

第7 特別会計 (審査調書第1～4、7、8、10、15表参照)

国民健康保険など8特別会計の決算額は、次のとおりである。

(単位：千円)

会計	歳入 決算額 (A)	歳出 決算額 (B)	歳入歳出 差引額 (C)=(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 (D)	実質 収支額 (E)=(C-D)	一般会計 繰入額	一般会計 繰出額
国民健康保険	43,909,545	43,640,217	269,327	0	269,327	4,680,658	160,125
食肉センター	324,567	324,567	0	0	0	218,046	0
公共用地 買収事業	13,647	4,743	8,903	0	8,903	2,482	0
介護保険	39,819,577	39,113,345	706,232	0	706,232	5,959,656	0
後期高齢者 医療事業	8,807,845	8,509,160	298,685	0	298,685	1,559,354	0
母子父子寡婦福 祉資金貸付事業	29,716	11,873	17,843	0	17,843	1,070	0
鳴尾外財産区	26,165	26,165	0	0	0	0	0
集合支払費	1,094,846	1,094,846	0	0	0	0	0
計	94,025,911	92,724,918	1,300,993	0	1,300,993	12,421,267	160,125

特別会計の歳入総額は940億2,591万円で、前年度に比べ19億2,491万円(2.1%)増加している。これは主として、国民健康保険特別会計で1億5,800万円、集合支払費特別会計で1億2,505万円、それぞれ減少したが、介護保険特別会計で21億7,360万円増加したことによるものである。

特別会計の歳出総額は927億2,491万円で、前年度に比べ23億2,775万円(2.6%)増加している。これは主として、集合支払費特別会計で1億2,505万円、公共用地買収事業特別会計で5,376万円、それぞれ減少したが、介護保険特別会計で22億7,219万円、後期高齢者医療事業特別会計で3億2,943万円、それぞれ増加したことによるものである。

一般会計からの繰入金は124億2,126万円で、前年度に比べ4億5,769万円(3.8%)増加している。また、一般会計への繰出金は1億6,012万円で、前年度に比べ5,579万円(53.5%)増加している。

1 国民健康保険特別会計

当会計は国民健康保険法に基づき、兵庫県と西宮市が保険者となり医療保険事業等を行っているものである。

(1) 決算の状況

決算の状況は、次のとおりである。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
国民健康保険料	7,770,042	9,261,954	7,784,678	72,545	1,404,730	84.1	8,331,751	△ 547,072
使用料及び手数料	1	9	9	0	0	100.0	9	0
国庫支出金	0	1,806	1,806	0	0	100.0	367	1,439
県支出金	30,918,436	30,502,577	30,502,577	0	0	100.0	30,232,625	269,952
財産収入	485	145	145	0	0	100.0	109	35
繰入金	5,206,566	5,053,993	5,053,993	0	0	100.0	4,864,342	189,650
繰越金	483,200	483,200	483,200	0	0	100.0	549,992	△ 66,792
諸収入	114,403	109,259	83,133	7,206	18,919	76.1	88,351	△ 5,218
計	44,493,133	45,412,946	43,909,545	79,751	1,423,649	96.7	44,067,550	△ 158,005

歳出

(単位：千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
総務費	700,671	665,852	0	34,818	95.0	633,993	31,858
保険給付費	30,141,687	29,384,123	0	757,563	97.5	29,117,200	266,923
国民健康保険事業 費納付金	12,545,970	12,545,967	0	2	100.0	12,762,677	△ 216,709
保健事業費	339,954	285,807	0	54,146	84.1	289,732	△ 3,925
基金積立金	318,724	318,384	0	339	99.9	469,150	△ 150,766
諸支出金	446,127	440,081	0	6,045	98.6	311,595	128,486
予備費	0	0	0	0	—	0	0
計	44,493,133	43,640,217	0	852,915	98.1	43,584,350	55,867

予算現額44億9,313万円に対し、歳入43億954万円、歳出43億4,021万円で、歳入歳出差引額2億6,932万円が翌年度へ繰越されている。

歳入は前年度に比べ1億5,800万円減少している。これは主として、保険料率の上昇による増額よりも被保険者数の減少による減額が上回ったことによるものである。

歳出は前年度に比べ5,586万円増加している。これは主として、県下全市町の医療費や所得水準、保険料収入率等を基に算出される医療給付費分の国民健康保険事業費納付金が減少したが、高額療養費の件数が増加したことによるものである。

なお、西宮市国民健康保険財政安定化基金は、国民健康保険事業の財政安定化に資するため設置された基金で、5年度は前年度決算剰余金の一部から3億1,823万円と基金運用利子14万円を合わせた3億1,838万円が積み立てられ、保険料率の上昇を抑制するための費用に充てるため1億5,000万円

を取り崩している。また、出納整理期間中に国県支出金超過交付返納金の費用に充てるため2億2,333万円を取り崩しており、出納整理期間後の現在高は16億4,379万円である。

(2) 保険料収入

5年度の保険料収入状況は、次のとおりである。

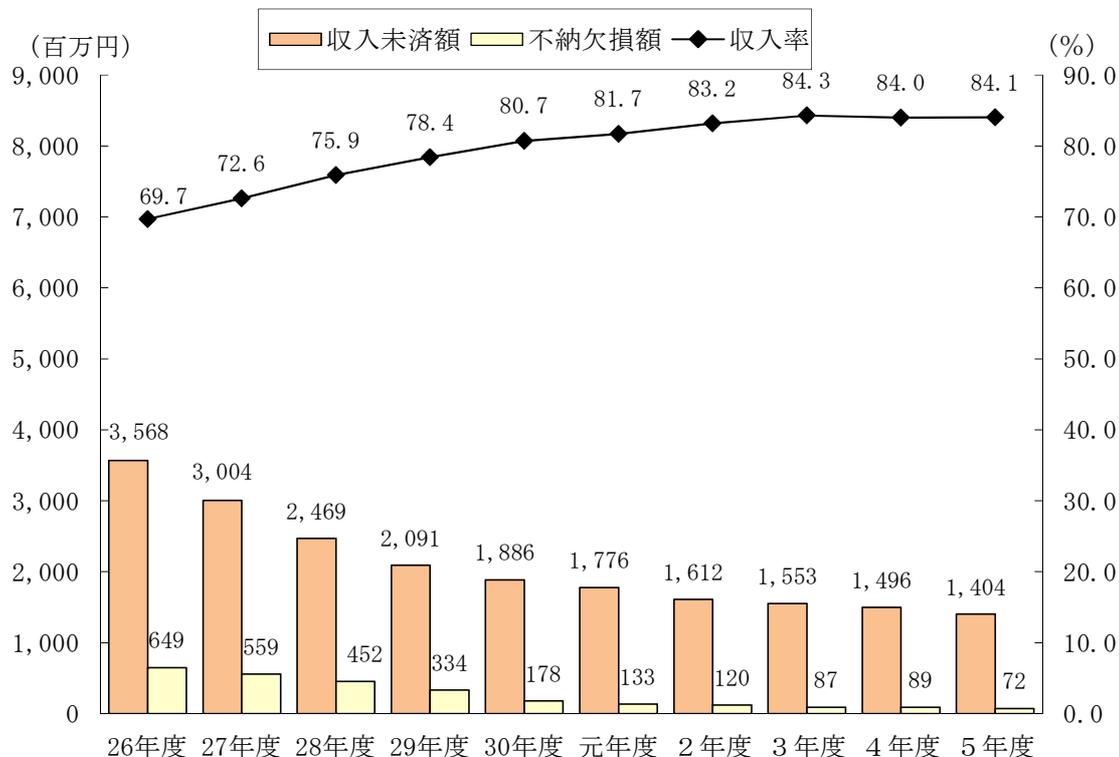
(単位：千円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	前年度 収入率
現 年 度 分	7,396,883	7,797,939	7,408,425	0	389,513	95.0	94.5
滞 納 繰 越 分	373,159	1,464,015	376,253	72,545	1,015,217	25.7	26.3
計	7,770,042	9,261,954	7,784,678	72,545	1,404,730	84.1	84.0

全体の収入率は、前年度と比べ0.1ポイント上昇し84.1%である。

前年度と比べ現年度分の収入率は0.5ポイント上昇し95.0%、滞納繰越分の収入率は0.6ポイント低下し25.7%である。現年度分の収入率が上昇したのは、文書・コールセンター・SMS(ショートメッセージサービス)による納付勧奨及び令和4年に導入した「Web口座振替申込受付サービス」を活用した口座振替勧奨等の対策によるものである。滞納繰越分の収入率は、財産調査の推進、滞納処分強化の強化、不良債権の処理等これまで取り組んできた緊急プラン等による様々な収納改善を行ったものの、結果的に前年度を下回った。

最近10か年の収入未済額等の状況は、次のとおりである。



注 収入未済額、不納欠損額は左軸の数値で、収入率は右軸の数値で表記

(3) 保険給付

5年度における保険給付の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

区 分	4年度		5年度		増減率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
療 養 給 付 費	1,515,764	24,929,659	1,488,875	25,010,989	△ 1.8	0.3
療 養 費	51,433	341,914	48,392	325,680	△ 5.9	△ 4.7
高 額 療 養 費	88,095	3,547,977	89,748	3,772,807	1.9	6.3
高額介護合算療養費	167	4,360	158	4,697	△ 5.4	7.7
出 産 育 児 一 時 金	229	95,704	198	96,014	△ 13.5	0.3
葬 祭 費	494	24,700	470	23,500	△ 4.9	△ 4.9
移 送 費	0	0	0	0	—	—
医 療 付 加 金	71	25	72	31	1.4	21.4
計	1,656,253	28,944,342	1,627,913	29,233,720	△ 1.7	1.0

最近5か年の一人当たり費用額等は、次のとおりである。

(単位：円・人・%)

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	対前年度 増減率
一人当たり費用額	394,538	389,603	410,462	421,286	443,650	5.3
年間平均被保険者数	87,231	85,294	84,172	81,489	77,633	△ 4.7

年間平均被保険者数は減少傾向にある。一人当たり費用額は4年度に引続き増加している。これは、例年と比べ早い時期にインフルエンザが流行するなど、何かしらの受診行動に変化があり一人当たり医療費(一人あたり受診回数及び診療一件当たりの金額)が増加したものと考えられる。

2 食肉センター特別会計

当会計は、西宮市食肉センター及び西宮市食肉地方卸売市場の管理運営を行うもので、決算状況は、次のとおりである。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
使用料及び手数料	98,145	93,997	93,997	0	0	100.0	98,235	△ 4,237
繰入金	244,270	218,046	218,046	0	0	100.0	217,820	225
諸収入	10,668	12,523	12,523	0	0	100.0	12,381	141
市債	0	0	0	0	0	—	31,200	△ 31,200
計	353,083	324,567	324,567	0	0	100.0	359,637	△ 35,070

歳出

(単位：千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
食肉センター費	282,753	254,372	0	28,380	90.0	292,279	△ 37,907
公債費	70,330	70,195	0	134	99.8	67,358	2,837
計	353,083	324,567	0	28,515	91.9	359,637	△ 35,070

予算現額3億5,308万円に対して、歳入歳出決算額は、それぞれ3億2,456万円である。

最近3か年の食肉センター使用料等の収入状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区分	3年度	4年度	5年度	対前年度 増減率
と室・解体室等使用料	78,688	72,782	68,915	△ 5.3
内臓処理室使用料	3,028	2,802	2,654	△ 5.3
冷蔵室使用料	20,741	20,217	19,859	△ 1.8
卸売市場使用料	2,113	2,359	2,500	6.0
庁舎敷等使用料	71	72	67	△ 7.7
光熱水費使用者負担金	11,803	12,354	12,497	1.2
計	116,446	110,589	106,495	△ 3.7

最近3か年の食肉センターの年間処理頭数等の状況は、次のとおりである。

(単位：頭・%・円)

区分	大動物	小動物	年間処理頭数 (小動物換算)	稼働率	処理単価
3年度	6,672	37,465	64,153	60.6	3,931
4年度	6,628	32,841	59,353	57.4	4,398
5年度	6,735	29,257	56,197	53.6	4,526

注1 年間処理頭数、稼働率、処理単価は小動物換算（大動物1を小動物4と換算）

2 稼働率=年間処理頭数÷(開場日数×1日当たり処理能力)×100

年間処理頭数は、前年度に比べ大動物は107頭増加したが、小動物は3,584頭減少し、使用料は、423万円減少している。

一般会計からの繰入金は2億1,804万円で、このうち市債の償還分等に充てる7,019万円を除いた1億4,785万円が管理運営経費に充当されている。この管理運営経費への充当額は、前年度に比べ257万円減少している。

一般会計からの繰入金の充当状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
一般会計繰入金A	176,900	175,100	168,953	177,603	189,042	217,820	218,046
うち管理運営経費充当分B	124,707	133,172	127,085	132,295	135,686	150,422	147,851
充当割合(B/A×100)	70.5	76.1	75.2	74.5	71.8	69.1	67.8

3 公共用地買収事業特別会計

当会計は、公共用地の取得を円滑にすることを目的に、道路などの用地買収事業を行うもので、決算状況は、次のとおりである。

歳 入

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
道路用地買収事業収入	5,540	4,649	4,649	0	0	100.0	59,991	△ 55,341
市街地整備用地買収事業収入	1,710	8,997	8,997	0	0	100.0	7,488	1,509
計	7,250	13,647	13,647	0	0	100.0	67,480	△ 53,832

歳 出

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
道路用地買収事業費	5,540	4,649	0	890	83.9	58,188	△ 53,539
市街地整備用地買収事業費	1,710	94	0	1,615	5.5	318	△ 224
計	7,250	4,743	0	2,506	65.4	58,507	△ 53,763

予算現額725万円に対し、歳入1,364万円、歳出474万円で、歳入歳出差引額890万円が翌年度へ繰越されている。

(1) 道路用地買収事業

収入済額は、土地貸付収入36万円、一般会計繰入金248万円、前年度繰越金180万円である。

支出済額は、不動産鑑定料26万円、用地管理委託料116万円、用地管理工事費321万円である。

(2) 市街地整備用地買収事業

収入済額は、土地貸付収入182万円、前年度繰越金717万円である。

支出済額は、用地管理委託料9万円である。

4 介護保険特別会計

介護保険は、加齢による病気等で要介護状態等になった人に対して、その人が持つ心身の能力に応じ自立した日常生活が営めるように、必要な介護サービスに係る給付を行う。また、被保険者が要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態等になった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を送ることができるよう支援することを目的とした地域支援事業を行っている。

当会計は、介護保険法に基づき、西宮市が保険者となり制度運営を行っているものである。

(1) 決算の状況

決算の状況は、次のとおりである。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
介護保険料	7,475,976	7,601,214	7,519,138	15,757	66,318	98.9	7,481,895	37,243
使用料及び手数料	503	474	471	0	3	99.4	329	141
国庫支出金	8,890,155	8,786,980	8,786,980	0	0	100.0	8,415,369	371,610
支払基金交付金	10,251,670	9,906,367	9,906,367	0	0	100.0	9,397,982	508,385
県支出金	5,498,648	5,508,603	5,508,603	0	0	100.0	5,268,594	240,009
財産収入	892	231	231	0	0	100.0	257	△ 26
繰入金	7,473,168	7,266,190	7,266,190	0	0	100.0	6,473,224	792,966
繰越金	804,820	804,820	804,820	0	0	100.0	578,863	225,956
諸収入	14,003	26,782	26,774	0	8	100.0	29,454	△ 2,680
計	40,409,835	39,901,664	39,819,577	15,757	66,329	99.8	37,645,971	2,173,606

歳出

(単位：千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
総務費	855,096	807,683	0	47,412	94.5	676,659	131,024
保険給付費	36,228,040	35,138,612	0	1,089,427	97.0	33,281,144	1,857,468
地域支援事業費	2,450,214	2,342,082	0	108,131	95.6	2,198,148	143,934
基金積立金	432,934	432,267	0	666	99.8	1,194	431,072
諸支出金	393,551	392,698	0	852	99.8	684,003	△ 291,305
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0	0	0
計	40,409,835	39,113,345	0	1,296,489	96.8	36,841,150	2,272,194

予算現額40億983万円に対し、歳入39億819万577円、歳出39億113万345円で、歳入歳出差引額7億623万円が翌年度へ繰越されている。

なお、西宮市介護給付費準備基金は、介護保険法に基づく介護保険給付及び地域支援事業の財源に不足が生じたときの財源に充てるため設置された基金で、5年度は過年度負担金・交付金追加交付1,988万円、保険料延滞金4億1,215万円及び基金運用利子23万円を合わせた4億3,226万円が積み立てられ、介護給付費の増加に対して介護保険料収入の増加が追い付かず財源が不足するため13億653

万円を取り崩しており、5年度末の現在高は20億8,705万円である。

(2) 保険料収入

保険料収入状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現 年 度 分	7,464,719	7,531,683	7,501,927	0	29,756	99.6
特別徴収	—	6,665,041	6,665,041	0	0	100.0
普通徴収	—	866,641	836,885	0	29,756	96.6
滞 納 繰 越 分	11,257	69,530	17,211	15,757	36,561	24.8
計	7,475,976	7,601,214	7,519,138	15,757	66,318	98.9

収入未済額は6,631万円で、前年度に比べ333万円(4.8%)減少している。

年間平均被保険者数は119,004人で、前年度に比べ723人(0.6%)増加している。

(3) 保険給付

5年度における保険給付の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

区 分	4年度		5年度		増減率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金額
居宅介護支援・介護予防支援	158,607	2,026,856	165,072	2,105,419	4.1	3.9
居 宅 サ ー ビ ス	436,037	17,240,126	462,058	18,340,069	6.0	6.4
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス	35,470	3,944,434	37,982	4,267,772	7.1	8.2
施 設 サ ー ビ ス	29,819	8,448,427	30,048	8,648,468	0.8	2.4
特定入所者介護サービス	37,083	490,629	37,168	489,567	0.2	△ 0.2
高額介護サービス等	77,198	1,096,864	86,062	1,251,685	11.5	14.1
審査支払手数料	653,877	33,805	689,178	35,630	5.4	5.4
計	1,428,091	33,281,144	1,507,568	35,138,612	5.6	5.6

5 後期高齢者医療事業特別会計

当会計は、国民皆保険制度を維持し、将来にわたり持続可能なものとするとともに、高齢者世代と現役世代の負担を明確で公平なものとするため平成20年4月に創設された後期高齢者医療制度に係る特別会計である。

(1) 決算の状況

決算の状況は、次のとおりである。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
後期高齢者 医療保険料	6,572,487	6,715,782	6,688,871	442	26,468	99.6	6,427,754	261,117
後期高齢者医療 広域連合支出金	208,405	235,810	235,810	0	0	100.0	244,556	△ 8,746
国庫支出金	0	0	0	0	0	—	4	△ 4
繰入金	1,655,753	1,559,354	1,559,354	0	0	100.0	1,475,289	84,064
繰越金	276,428	276,427	276,427	0	0	100.0	263,253	13,174
諸収入	38,676	47,381	47,381	0	0	100.0	45,296	2,084
計	8,751,749	8,834,756	8,807,845	442	26,468	99.7	8,456,154	351,691

歳出

(単位：千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
総務費	277,633	253,660	0	23,972	91.4	280,372	△ 26,711
後期高齢者医療 広域連合納付金	8,109,249	7,954,092	0	155,156	98.1	7,610,018	344,074
保健事業費	328,867	266,437	0	62,429	81.0	258,835	7,602
諸支出金	36,000	34,968	0	1,031	97.1	30,500	4,468
計	8,751,749	8,509,160	0	242,588	97.2	8,179,726	329,433

予算現額87億5,174万円に対し、歳入88億784万円、歳出85億916万円で、歳入歳出差引額2億9,868万円が翌年度へ繰越されている。

(2) 保険料収入

保険料収入状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	6,551,746	6,690,339	6,670,859	0	19,480	99.7
滞納繰越分	20,741	25,443	18,012	442	6,988	70.8
計	6,572,487	6,715,782	6,688,871	442	26,468	99.6

収入未済額は2,646万円で、前年度に比べ61万円(2.4%)増加している。

年間平均被保険者数は65,128人で、前年度に比べ2,916人(4.7%)増加している。

6 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

当会計は、母子家庭の母などに経済的な安定と自立のため必要な資金を貸し付ける特別会計で、決算状況は、次のとおりである。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
繰入金	1,301	1,070	1,070	0	0	100.0	869	200
繰越金	16,905	18,886	18,886	0	0	100.0	18,634	252
諸収入	9,947	26,670	9,759	0	16,911	36.6	13,935	△ 4,176
計	28,153	46,627	29,716	0	16,911	63.7	33,439	△ 3,723

歳出

(単位：千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	26,868	10,588	0	16,279	39.4	12,786	△ 2,198
公債費	1,285	1,284	0	0	100.0	1,766	△ 481
計	28,153	11,873	0	16,279	42.2	14,553	△ 2,680

予算現額2,815万円に対し、歳入2,971万円、歳出1,187万円で、歳入歳出差引額1,784万円が翌年度へ繰越されている。

最近3か年の貸付状況は、次のとおりである。

(単位：件・千円・%)

区分	3年度	4年度	5年度	対前年度増減率
件数	21	16	10	△ 37.5
貸付額	10,093	11,917	9,518	△ 20.1

7 鳴尾外財産区特別会計

当会計は、地方自治法第294条第3項に基づき、鳴尾財産区などの財産区の収入及び支出を取り扱うものである。財産区は、その所有する土地などの財産、又は、公の施設を管理することを目的とする特別地方公共団体で、市長が管理者として、その事務を処理している。決算状況は、次のとおりである。

歳入

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
鳴尾財産区収入	16,538	16,537	16,537	0	0	100.0	16,537	0
上山市外4区有財産区収入	4,314	4,313	4,313	0	0	100.0	4,513	△ 200
越木岩財産区収入	2,761	2,760	2,760	0	0	100.0	2,760	0
上瓦林財産区収入	300	300	300	0	0	100.0	300	0
上新田財産区収入	900	900	900	0	0	100.0	900	0
上山口財産区収入	1,151	1,150	1,150	0	0	100.0	1,534	△ 383
津門財産区収入	0	0	0	0	0	—	342	△ 342
段上財産区収入	203	202	202	0	0	100.0	0	202
計	26,167	26,165	26,165	0	0	100.0	26,888	△ 723

歳出

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
鳴尾財産区支出	16,538	16,537	0	0	100.0	16,537	0
上山市外4区有財産区支出	4,314	4,313	0	0	100.0	4,513	△ 200
越木岩財産区支出	2,761	2,760	0	0	100.0	2,760	0
上瓦林財産区支出	300	300	0	0	100.0	300	0
上新田財産区支出	900	900	0	0	100.0	900	0
上山口財産区支出	1,151	1,150	0	0	100.0	1,534	△ 383
津門財産区支出	0	0	0	0	—	342	△ 342
段上財産区支出	203	202	0	0	99.7	0	202
計	26,167	26,165	0	1	100.0	26,888	△ 723

予算現額2,616万円に対し、歳入歳出決算額は、それぞれ2,616万円である。

各財産区の歳入・歳出状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

財産区	歳 入			歳 出	
	科 目	金 額	説 明	科 目	金 額
鳴 尾	土地建物貸付収入	16,537	戸崎町溜池敷地貸付料	寄 附 金	16,537
上大市外4区有	土地建物貸付収入	4,313	仁川町6丁目溜池敷地貸付料	積 立 金	3,113
				寄 附 金	1,200
				計	4,313
越 木 岩	土地建物貸付収入	2,760	北山町溜池敷地等貸付料	寄 附 金	2,760
上 瓦 林	土地建物貸付収入	300	日野町溜池敷地貸付料	寄 附 金	300
上 新 田	土地建物貸付収入	900	樋ノ口町2丁目溜池敷地貸付料	寄 附 金	900
上 山 口	土地建物貸付収入	1,150	山口町上山口3丁目田敷地貸付料	積 立 金	50
				寄 附 金	1,100
				計	1,150
段 上	土地建物貸付収入	202	甲東園2丁目溜池敷地貸付料	寄 附 金	202
合 計	計	26,165		合 計	26,165

上大市外4区有財産区の積立金311万円、上山口財産区の積立金5万円は、財産区保有の基金に積み立てられている。

鳴尾外財産区特別会計から支出された寄附金2,300万円は、一般会計の総務費寄附金として収入され、同額が地区自治団体運営交付金として支出されている。同交付金は、地域住民で組織された各区有財産管理委員会が、自主的に柔軟な管理運営を行えるよう、寄附金の範囲内で当該委員会に対し交付されるものである。

8 集合支払費特別会計

当会計は、一般会計と特別会計での電気使用料、ガス使用料、水道及び下水道使用料並びに電話使用料の支払事務を一元化することにより、その支払の確実性と簡素化を図るためのものであり、決算状況は、次のとおりである。

歳 入

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
繰 替 金 収 入	1,336,285	1,094,846	1,094,846	0	0	100.0	1,219,904	△ 125,058

歳 出

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
集 合 支 払 費	1,336,285	1,094,846	0	241,438	81.9	1,219,904	△ 125,058

予算現額13億3,628万円に対し、歳入歳出決算額は、それぞれ10億9,484万円である。

5年度における各料金を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	4年度	5年度	増減額	増減率
電 気 使 用 料	534,236	455,008	△ 79,227	△ 14.8
ガ ス 使 用 料	150,680	114,989	△ 35,690	△ 23.7
水道及び下水道使用料	451,371	444,413	△ 6,958	△ 1.5
電 話 ・ 回 線 使 用 料	83,616	80,434	△ 3,181	△ 3.8
計	1,219,904	1,094,846	△ 125,058	△ 10.3